

清水議長「文部科学大臣表彰」受賞！

神戸市体育指導委員協議会 清水議長が、去る平成20年11月27日、第49回全国体育指導委員研究協議会の表彰式で、体育指導委員功労者「文部科学大臣表彰」を受賞されました。この表彰は「体育指導委員として地域スポーツの振興に功績顕著な者を文部科学大臣が体育指導委員功労者として表彰し、その功に報いるとともに、今後における地域スポーツの一層の振興に資する。」(表彰要項より)という趣旨のもと文部科学大臣より授与されます。今年度は全国で88名の方が受賞されました。清水議長の西区、また神戸市での長年の功績が認められ受賞されたことは、私たち神戸市体育指導委員にとっても誠に喜ばしいことであり、また今後の励みになることと思います。いつも前向きな発想で、体からあふれ出るパワーが持ち味の清水議長が、これからもますますご活躍されることを祈念しています。



以下は西区で開催された「受賞を祝う会」で冊子に掲載された清水議長のお言葉です。

この度、文部科学大臣賞という身に余る賞をいただき、恥ずかしさと嬉しさが入り混じり感動もひとしおです。

体指になった当初、先輩の竹内さん、同級生の秋定喜代子さんと自腹をきってグラウンドゴルフの道具を購入し、普及に汗を流したことは懐かしい思い出です。でも当時は体指の活動はきらいでした。年月が経って神戸市のりっぱな(?)議長になっている自分が摩訶不思議。

体指として目覚めたのは、大震災後です。西区の若手体指に声をかけて、もずくスープ、焼き芋の炊き出しを行ってからです。一杯のお碗に元気になってと願いをこめて神戸市内はもとより芦屋まで出掛けました。あの時行動を起こして、人生で後悔しなくてよかったなあと思ひ返します。

今後は「人間学」のすばらしい他の九区の会長の知恵を借り、教育委員会の先生の指導を受けながらよりいっそう素晴らしい活動ができるように頑張っていきます。この度運よくいただいた賞は、これからも頑張れ!という言葉と受け止めて、これに恥じないよう、くじけず、クサらず、怒らず、メゲず、初心に戻り、「明るく楽しく一歩前」の気持ちで、人間としても成長していきたいと考えております。

清水 臣